

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	24	枝番	1
評価担当課	経済部耕地林務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	2	林業の振興
		基本事業	3	木材生産体制の整備拡大
		実施計画事業	1	木材需要の拡大

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、その他の地域活動を確保するための支援を通じて適切な森林整備の推進を図る。			
対象(何を又は誰を)	森林所有者等			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	国 50%、道 25%、市 25%			
意図(どのような成果を期待しているか)	適切な森林整備の推進			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 28年度) ・ 無
根拠法令・条例等	名寄市農業・農村振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 森林整備に必要な現況調査 現況調査の積算基礎面積	ha	目標					
			実績		134.2	149.6	100.0	
	2 路網整備に必要な現況調査 路網調査の積算面積	ha	目標					
			実績	4,584.3	4,780.0	—	—	
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	22,937	23,146	4,488	3,000	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図るため、市との協定に基づく支援(交付金)により、森林施業に不可欠な地域活動(森林の現況調査等)の実施を確保した。
国道支出金	17,203	17,360	3,366	2,250	
地方債					
その他					
一般財源	5,734	5,786	1,122	750	
人件費	1,337	1,326	1,294	1,294	H24までは施業集約化の促進、作業路網の改良活動等の現況調査を実施。H25より事業メニューが変更。 森林整備を目的とした現地の現況調査および所有者の意思確認などの実施を支援する。
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	24,274	24,472	5,782	4,294	
対前年比(%)	—	101	24	74	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 ( ) <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	森林の有する多面的機能を確保していくためには、地方公共団体の果たす役割が重要であり、国・道・市の連携の下に、森林整備のための地域活動を支援していくことが必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	森林経営経営計画を作成し、対象とされている森林において森林施業の集約化が促進される森林を対象
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、国 50%、道 25%、市 25%の負担割合で支援しているが費用対効果は不明。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	市と協定を締結した交付対象者が地域活動を行うことにより、森林所有者は森林経営計画に沿った事業を実施する。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	H24までは施業集約化の促進、作業路網の改良活動等の現況調査を実施。 H25より事業メニューが変更になり、現況の境界明瞭などの意思確認を実施。100haを計画。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化を背景として、森林施業意欲の減退しており、森林施業が十分に行われていない状況を計画的かつ一体的な活動を確保するための支援は今後必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり